

コロナがどんな病気か知ろう！～患者体験談より～

こんにちは！私は Covid-19 の検査で陽性でした。3月3日に感染し、1週間後に症状が出始め、検査結果が本日、3月17日確定診断となりました。



ちなみに私の年齢は47歳、体型は普通、基礎疾患はありません。

コロナウイルスに罹患するというのは、経験したことのないくらい酷いインフルエンザのようなものです。ひとしきり高熱が続いたかと思えば、セーターを3枚着いても歯がカタカタ音を立ててしまうほどの寒気が襲います。私は比較的「ラッキー」な患者です。体温が39度を超えることはありませんでしたが、それでも体が燃えているような感覚でした。加えて、「重い」「インフルみたい」といった表現しか思いつかないのですが常に頭に違和感があり、体の動作一つ一つが重労働のように感じました。

2、3日するとかなりひどい乾いた咳が出始めました。しかし私は幸運でした。胸痛もなく、呼吸困難もなかったからです。そういう症状が出ていたなら入院しなければならなかつたでしょう。

食欲は今でもほとんどありません。普段は大食いなのですが、つい2日前くらいからやっと少量を口にできるようになりました。でも、食べると気分が悪くなるのでほんの少ししか食べられません。

私は幸運にも鎮痛剤(タイレノール)だけでなんとかやり過ごすことができています。状態は改善しているようです。一番辛かったことはと言えば、自宅で安静に過ごせてはいたのですが **あまりにも気分が悪く疲れ切ついたために、座り込んで咳き込む以外のことがほとんど何もできなかつた**ことです。

さつきも言いましたが、私はコロナに感染した患者の中では軽いほうです。医師によると、あと1週間もすれば元気になるでしょう、とのこと。

でも皆さん、私の言うことを信じて！ このウイルスはヤバイです。絶対に罹らないほうがいい。そして誰かに感染させる存在にはなりたくないはずです。でも、ひょっとすると、なんの症状が出ていなくてもあなたはすでにウイルスに感染しているかもしれません。(私自身、症状ができるまでの1週間がそうだったかもしれませんのです)。だから自宅で待機しましょう。そして手を洗ってください！

多くの方はどうやって検査を受けるに至ったのかと疑問に思っているでしょう？ブロードウェイに観覧に行った時に入り口にいた案内係が検査で陽性だったことがわかったのです。私はその人と直接接触した可能性があり、発症する状況すべてがコロナの症状に当てはまり、インフルエンザ検査でも陰性だったため、Covid-19の検査を受ける必然性が出てきました。

疑い深い人たちのためにもう一度言いますが、私はインフルエンザ検査では A 型、B 型ともに陰性でした。だからインフルエンザではなかったのです。むしろ、私だって自分が感染したのはインフルエンザだったと思ったかった。けれどもそうではなかったのです。こうやってカミングアウトしているのは、私の体験談を皆さんと共有したいから。それ以外なんの得もありません。

多くの方は、今世界で起きていることに対し恐怖を感じていることでしょう。その気持ちはわかります。でも私の症例を参考にしてください。あろうことか経験を積んだ医師たちの診断を受けようともせず、ひとりよがりな素人判断に任せて分析し、自分の見立ての方が正しい信じてしまうことは馬鹿げているのです。いや、馬鹿げているだけでなく、公共に対して危険な行為ですらあります。思い込みはやめましょう。あなたや家族、周囲の方々のためにも正しい受診行動をしましょう。



世界中の皆さん！

本日(3月21日)、数週間ぶりに平熱になりインフルエンザのような体のだるさなしで目が覚めました。まだ少し咳が出ているので、念のためにもうしばらく自主的に自宅で養生を続けるつもりです。でも咳以外には、あらゆる面で絶好調です。

もしこの瞬間に、あなたがコロナで苦しんでいるならば、私はあなたに次のことを伝えます。ほとんどの人は完治します。簡単にはいかないけど、それでも完治します！

コロナに感染することを心配しているあなた、、、あなたは正しい！手洗いで衛生を保ち、むやみに人と接触しないでください。コロナに関する情報は、信頼性のある、商業的でないと頃から得ましょう。たとえばCDC(疾病対策センター)のようなところ

から得るとよいでしょう: [Coronavirus Disease 2019 \(COVID-19\)](#)

もし自分が感染したかもしれないと感じているなら、、、特に発熱・咳・胸の痛みあるいは呼吸障害という症状が揃っている場合--、医療機関に連絡してください。もし感染していたら?と考えると恐いですよね。わかります。でも現実を知ることがあなた(とあなたのコミュニティ)にとってははるかに良いことなのです。もし、私たち夫婦が感染したかもしれないとわかったときに受診していなかったら、妻の急性肺炎への対処が間に合わず、ここでこうしてお話しすることはできなかったかもしれません。

アメリカ人として、人類として、皆で協力すれば乗り切ることができます。自分自身を護りましょう。周囲の人たちにはお互いに気を配り合いましょう。科学者や医療専門家の言葉に耳を傾けましょう！彼らは現在、不眠不休で私たちのために尽くしてくれています。コロナ関係者への思いやり・尊敬を忘れるべきではありません！

ニューヨークより愛を込めて

Leon

Leon Chase: 映画関係者、動画編集者、NY在住